

# 子供の健康



# 家族の財産

## 新三種混合(MMR)ワクチン接種実施

### 一回の接種で

### 三つの病気予防

村では、子どもたちに健康ですこやかに育ってもらいたいと願い麻しん、おたふくかぜ、風しんを一回の接種で予防できるMMRWワクチンを今年度から実施することになりました。

今までは、麻しんの予防接種は役場で、他の二つは各自が病院で

接種していましたが、今年四月からMMRWワクチンが実用化されたことにより、同時に三つの病気を予防できるようになりました。

### 合併症から子供を守る

これらの三つの病気は、だれでもが一度はかかる病気として、一般に軽く見られています。しかし肺炎や脳炎などの危険な合併症を起すこともあり油断ができません。



病気です。そんなことにならないためにも、このMMRWワクチンで子どもたちを病気から守りましょう。

### MMRについての質疑応答あれこれ

- 接種対象は？  
生後18か月～48か月までです。36か月までが望ましい。
- 副反応はないんですか？  
MMRの副反応は、主として麻しんワクチンによるもので、接種後5～14日で発熱（時には過性の発疹を伴う）が見られることもあります。2日以内に解熱します。
- すでに三つのうちどれかに罹った場合はどうですか？  
ほかの二つの病気に対する免疫をつけるために、MMRWワクチンを接種しても問題はありせん。
- いま、三つのうちどれかに罹っている場合はどうですか？  
治ってから一か月以上経過してから接種してください。

### サバをよむ



ものを数えるとき、自分の都合のいいように実数をこまかすことを「サバをよむ」といいます。サバ(鯖)は秋に脂がのって特にうまい魚。「よむ」はこの場合、数を数える意味の言葉です。

「鯖の生き腐れ」というように、鯖はいたみかたが早く、新鮮そうに見えるものでも、アレルギー体質の人が食べるとジンマシンを起すことがあります。

「サバをよむ」の語源については、腐りやすい鯖を数えるとき、急いで数を飛ばすことが多かったからとする説をはじめ数説がありますが、なかでも「刺鯖」と呼ばれた塩味の干物と関係があるとする説が有力です。背を開いて塩づけにした刺鯖は、生の鯖のように食当りする危険のない美味な食物として、江戸時代にはお盆の贈答品によく用いられました。

刺鯖は二枚重ねたものを一つと数えたところから、二つずつ数えることを「鯖よみ」といったもの。もともとは、実数の半分に数えることだったというわけです。

## 歯痛の応急処置

むし歯はどうして痛いのでしょうか。むし歯の進行程度には4段階あります。

①C<sub>1</sub>:歯の表面のエナメル質のみの状態。②C<sub>2</sub>:象牙質にまで進んだ状態。③C<sub>3</sub>:歯髄(歯の神経)にまで達した状態。④C<sub>4</sub>:歯の根だけが残っている状態。C<sub>1</sub>では、痛みはありません。C<sub>2</sub>になると、触れるとピリッとしたり、冷たいものに対してしみるようになったり

## 歯の健康

り、食べ物が穴に入って痛みを感じるようになります。C<sub>3</sub>になると、歯髄(歯の神経)がむし歯が進んでいきますから、食べ物が触れるととび上るくらいに痛く、もちろん、

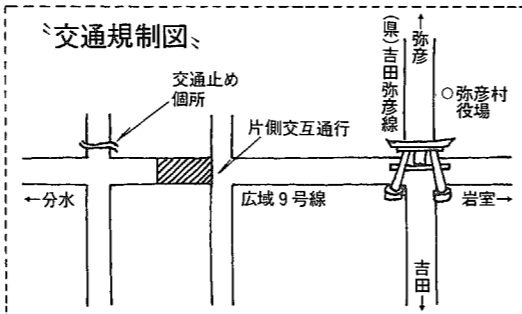
をつめて、すぐ歯科医院へ行かれる方がいいですね。一方、歯の神経の痛みとは別に、歯の根のまわりの骨や歯ぐきが原因で痛みが出ることもあります。顔の形が変わるほど腫れることがあります。この場合はあまり患部を冷やさないほうが良いようです。

とにかく、歯の痛みは風邪と違って薬を飲んで治るものではなく、

ただいま工事中 (入札結果から)

工事名・場所	工事費(万円)	完了予定日	工事業者
■モデル事業関係 農道改良工事 (西中地内) L=246m	700	12/15	株式会社広瀬組
集落道改良工事 (橋本地内) L=67m	450	12/5	株式会社広瀬組
■その他 林道開設工事 (金池・石瀬地内) L=320m	901	3/15	渡辺組

交通止めのお願い  
下記の路線が道路工事のため、交通規制(交通止め%~%、片側交互通行%~%)となりますのでご協力下さい。



'89全国道路標識週間  
—10月2日~10月8日—



## お気軽にご相談を

- 行政・人権合同相談所 10月18日
- 巡回行政相談所 10月20日

行政相談委員はみなさんの力強い味方です。お気軽にご相談ください。

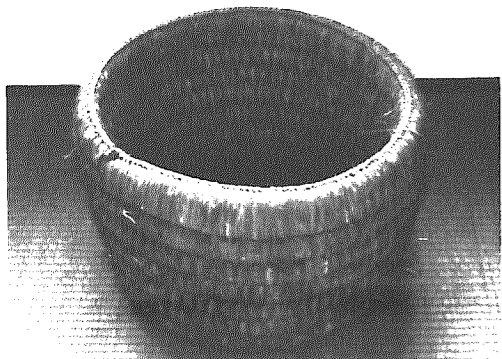
- 行政・人権合同相談所: 今月十八日(水) 時間: 午前10時から午後三時まで
- 巡回行政相談所: 10月20日(金) 時間: 午前10時から正午まで

## みなさんと行政のパイプ役 住みよい暮らしを応援します

みなさんこの機会に、苦情、ご意見、要望などがありましたらお気軽にご相談ください。岩室村役場(☎82-141-1) 間瀬地区公民館(☎85-1100-1)

## むらの民芸シリーズ

⑥



## ちぐら

農家で忙しくて子守りのいないとき、赤ちゃんを入れておいた保育器です!

これらは、藁で作られていたものが多く、中には木や竹で作られた箱型や桶型の「ちぐら」もありました。利用法はおシッコなどで汚れるのを防ぐため、底に藁灰などを入れ、その上に座布団を敷いていました。非衛生的でしたが、そんなことは言っていられなかったようです。いまみると、造形的に美を感じるののできる民具ですが、本質的に「せつぱつまった、生活の知恵だったと見なければなりません。この中に入れられて泣き疲れ、ねむってしまった思い出のある人も多いはず。そんな年代の人には、この民具に「かげとわびしさ」を感じるのではないのでしょうか(民俗資料館収蔵)

毎日の暮らしのなかで、道路や河川の整備、環境衛生など役所や公団などの仕事に苦情や要望、意見などはありませんか。「苦情はあるが、直接役所に行ってしまうのは、行政相談委員に申し出てはどうか。」という声は、行政相談委員に申し出てはどうか。この行政相談委員は法律に基づき、総務庁長官から委嘱された民間の有識者で、岩室村では、和納八区の岩本格さん(61歳)が委嘱を受けている仕事の苦情や要望、意見をみなさんから受け、問題の解決を図るため、みなさんと行政とのパイプ役として活躍しています。

もちろん相談は無料で、匿名でも受け付けています。相談方法は口頭、電話、手紙のいずれでもかまいません。みなさんの身近なところで開かれている行政相談窓口。